

平成 22 年 5 月 19 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007～2009

課題番号：19330166

研究課題名（和文） 福祉国家の変容と生涯学習施設のガバナンスの再編

研究課題名（英文） The Transformation of Welfare State and The Restructuring of Governance of Facilities for Lifelong Learning

研究代表者

高橋 満 (TKAHASHI MITSURU)

東北大学・大学院教育学研究科・教授

研究者番号：70171527

研究成果の概要（和文）：

日本の社会教育制度は、福祉国家的な施策として制度化がすすめられてきた。しかしながら、この制度や管理運営の在り方は、経済のグローバル化や、これへの政策的応答としての自由主義的改革のもとで機能不全に陥っている。

本研究では、これに対して、ソーシャルガバナンスという「パートナーシップ型の統治」モデルを提案している。それは、行政とともに市場やNPOなどの多様な主体がステークホルダーとして独自の役割を果たすものとして参入し、新しい公共性をつくりあげるものである。

研究成果の概要（英文）：

Japanese adult and community education system has been systemized as welfare national polity. However, The educational system and governance is getting dysfunctional with the personnel arrangement.

In this research, we proposed the vision for the system of “partnership-type administration”, “social governance of adult and community education”. Various bodies such as markets or NPO take participate in there and create new public nature as stakeholder playing their original rolls.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	2,300,000	690,000	2,990,000
2008年度	3,000,000	900,000	3,900,000
2009年度	3,300,000	990,000	4,290,000
年度			
年度			
総計	8,600,000	2,580,000	11,180,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：生涯学習 ガバナンス 福祉国家 サードセクター 市民社会

1. 研究開始当初の背景

現在、社会構造改革や地方分権化の推進ということとも関連して、これらの諸領域における運営管理の仕組みが大きく変容しつつある。社会教育の領域では、指定管理者制度など、これまで財団化などの形態の民営化はみられたものの公的設置と公的運営が前提とされてきたガバナンスのあり方が大きく揺らいでいる。

この指定管理者制度の導入に対する批判的検討もすすめられている。しかしながら、将来的にどのようなガバナンスのあり方がのぞましいのか、それは、どのような視点からみて望ましいものであるのか、という原理的検討をふまえたものとなっていない現状がある。

2. 研究の目的

本研究は、この社会教育の新しいガバナンスの原理と具体的な編成について、理論的、実証的研究、そして比較研究をふまえて政策的な提言を行うことに課題がある。

3. 研究の方法

この研究では、以下の方法で研究をすすめた。

- (1) 先行研究の理論的検討
- (2) 協同組合と NPO というサードセクターが実践している、高齢者を対象とする医療・福祉活動（サービス）、少子化のなかでの子どもを対象として活動について、その活動の構造・展開過程を実証的研究。
- (3) ガバナンス論の理論的・政策的検討（ソーシャル・ガバナンス、パートナーシップ・ガバナンス論の検討）

これらを総合して政策的な知見を明らか

にする。

4. 研究成果

松本市はじめ国内数都市の生涯学習施設の運営管理に関する実証的研究、研究会での内外の教育施設のガバナンスに関する先行研究の検討をとおして、新しいガバナンスの原理としてソーシャルガバナンスというモデルとその意義を提示した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 18 件）

1. 高橋満、ダグワドルジ・アディアニヤム、エンフオチル・フビスガルト「モンゴルの社会変動と成人教育」、『東北大学大学院教育学研究科年報』58(1)、69-90 頁、査読有、2009 年。
2. 高橋満、「公民館実践分析の視点」、『月刊社会教育』53(4)、査読有、75-80 頁、2009 年。
3. 宮崎隆志、「生活者としての健康」の構造と健康学習の射程」、『月刊社会教育』53（1）、査読無、5-13 頁、2009 年。
4. 宮崎隆志、「これからの社会教育研究の課題」『月刊社会教育』、査読無、58-64 頁、2008 年。
5. 石井山竜平、「社会教育行政と公共主体形成」、『自治体改革と社会教育ガバナンス』日本社会教育学会、第 53 集、査読有、42-59 頁、2009 年
6. 高橋満、「これからの社会教育研究の課題」『月刊社会教育』、査読無、58-64 頁、2008 年。
7. 宮崎隆志、「人間形成の危機と社会教育—「若者問題」が問う社会教育の課題」、『月刊社会教育』、52（5）、査読無、44-50 頁、2008 年。
8. 宮崎隆志、「批判的ソーシャルキャピタル論の提起—協同性の発展との関わり

で」、『社会教育研究』北海道大学大学院教育学研究科社会教育研究室、26号、査読無、1-9頁、2008年。

9. 宮崎隆志、「家族の危機と協同的支援ネットワークの課題」、『子ども発達臨床研究』2号、査読無、21-34頁、2008年。
10. 大高研道、「イギリス社会的企業による就業・自立支援の地域的展開」、『日本社会教育学会紀要』日本社会教育学会、44号、査読有、21-30頁、2008年。
11. 石井山竜平、「これからの社会教育を拓くために」、『月刊社会教育』52(1)、査読無、32-38頁、2008年。
12. 笹原恵、「幼児期におけるジェンダーの社会化に関する一考察」、『静岡大学情報学研究』14号、査読有、33-59頁、2008年。
13. 石井山竜平・高橋満・松本大、「仙台市市民センターのソーシャル・キャピタル測定」、石井山竜平・高橋満・松本大、査読無、35-43頁、2007年。
14. 朝岡幸彦、「まちづくりと市民の学習—ESDの視点から」、『住民と自治』自治体問題研究所、536号、査読無、12-15頁、2007年。
15. 朝岡幸彦、「社会教育・生涯学習としての環境教育」、『月刊社会教育』51(1)、査読無、6-13頁、2007年。
16. 千葉悦子、「社会教育におけるジェンダー平等への取り組み」、『月刊社会教育』51(3)、査読無、12-18頁、2007年。
17. 広森直子、「青森県における知的障害のある人の生涯学習活動の現状と課題—受講生調査から」、『青森県立保健大学雑誌』、8(2)、査読有、245-253頁、2007年。
18. 石井山竜平、「公民館をめぐる政策の動向」、『日本公民館学会』4号、査読無、107-110頁、2007年。

[学会発表] (計8件)

1. 高橋満、公民館実践の存立関係、日本社会教育学会・東北北海道研究集会、2009年6月14日、北翔大学。
2. 高橋満、貧困ゲル集落の形成と成人教育、日本都市学会、2009年10月24日、名古屋都市センター。
3. 宮崎隆志、ソーシャル・キャピタル論とケイパビリティ論の批判的検討、日本社会教育学会、2008年9月19日、大東文

化大学。

4. 松本大、〈魂〉の専門職—看護職であること／看護職になっていくこと—、日本社会教育学会、2008年9月19日、大東文化大学。
5. 大高研道、日本型社会的企業による自立支援モデルの検討—労協若者自立塾の取り組みを題材に—、日本社会教育学会、2008年9月19日、大東文化大学。
6. 朝岡幸彦、地域雇用創出とエンパワメント—労働者協同組合を事例に—、日本社会教育学会、2008年9月19日、大東文化大学。
7. 松本大、ライフストーリーと成人学習、日本社会教育学会、2007年9月20日、和歌山大学。
8. 広森直子、富永貴公、平川景子、男女平等の職場づくりと当事者の学び、日本社会教育学会、2007年9月20日、和歌山大学。

[図書] (計1件)

1. 高橋満、『NPOの公共性と生涯学習のガバナンス』(東信堂)、全192頁、2009年。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高橋 満 (TAKAHASHI MITSURU)

東北大学・大学院教育学研究科・教授

研究者番号：70171527

(2) 研究分担者

石井山 竜平 (ISHIIYAMA RYUHEI)

東北大学・大学院教育学研究科・准教授

研究者番号：30304702

広森 直子 (HIROMORI NAOKO)

青森県立保健大学・健康学部・助教

研究者番号：40315536

笹原 恵 (SASAHARA MEGUMI)

静岡大学・情報学部・准教授

研究者番号：40237813

槇石 多希子 (MAKIISHI TAKIKO)

仙台白百合女子大学・人間学部・教授

研究者番号：80209402

朝岡 幸彦 (ASAOKA YUKIHIKO)

東京農工大学・連合農学研究科・教授

研究者番号：60201886

千葉 悦子 (CHIBA ETSUKO)

福島大学・行政政策学類・教授
研究者番号：30217244

大高 研道 (OOTAKA KENDO)
聖学院大学・コミュニティ政策学部・准教授
研究者番号：00364323

宮崎 隆志 (MIYAZAKI TAKASHI)
北海道大学・大学院教育学研究科・教授
研究者番号：10190761

松本 大 (MATSUMOTO DAI)
東北福祉大学・総合福祉学部・助教
研究者番号：50550175

(3)連携研究者
なし